

新型コロナウイルスのため、団体活動や地域活動が制限され、子どもたちの体験や活動の機会が少なくなっている。そのような中でも、地域で輪を掛けながら、子どもたちの体験や活動の機会を作られていく団体もあります。今回はコロナ禍でも工夫をしながら活動を続ける団体にお話を伺いました。

公民館利用案内

君津まちなか子ども食堂



「子ども食堂」というと子どもたちの貧困支援だと考えがちですが、私たちは地域の方のだけれども利用できる、子どもたちを真ん中に置いた地域の多世代交流拠点となることを目指しています。食を通して団らんのある場、子どもたちの安心の場と考えていただくと嬉しいですね。」と語る代表の井上さん。



八重原公民館での弁当づくり

放課後子ども教室 やえっ子ひろば



ころがしドッチボールの様子

八重原小学校の1、4年生を対象に八重原小学校の校庭等を活用し、子どもたちの放課後の居場所づくりとして、地域の様々な人が関わりながら運営をしています。

青少年の自然体験

今年度は、八重原公民館との共催事業として、田植えから稲刈り、収穫までの農業体験を通して、食べられることへの感謝のキモチを家族みんなで感じてもらう「親子米づくり教室」と、自然のなかで生き物を観察したり工作を行ったりすることで自然に対する発見や気づきを得てもらうための「八重原子ども自然体験教室」を行っています。

コロナ禍での活動は活動時間や活動内容等の制限が多く、例年であれば1日掛かりで実施している活動を2時間という短い時間で行ったり、飲食を伴う活動が制限されたり、緊急事態宣言発令中には活動自体を制限され、親子米

た日も井上さんの言葉通り、多くの方が関わり参加をしていました。

メニューを考えている山口さんは「昨年度管理栄養士の資格を取得してこの活動に活かしています。子どもたちの栄養や、調理ボランティアの皆さんが2時間の時間内で調理できるメニューを考えています。」と笑顔で語ってくれました。この日のメニューは、徳島漁協や企業・個人そして地元のお店から寄付をいただいていた3色丼。和気あいあいと7名のスタッフで70食を作り上げていたのが印象的でした。全国的ネットワーク

の役員として関わられています。平成27年度の「やえっ子ひろば」の立ち上げにあたり君津市から声がかかり、この取り組みに参加したそうです。コロナ禍では、予定していた日程で実施できず、感染リスクを考えた活動プログラムを検討しながら企画・運営をされているそうです。保護者や地域の方などボランティアの方の協力を得ながら活動をしているそうです。



結果になってしまいました。他にも、例年実施している八重原子どもキャンプや八重原公民館文化祭での餅つきややるた大会は、新型コロナウイルス感染症の影響によりその開催自体が見送られてしまっています。私も残念に思います。私たちの活動は、参加する子どもたちにさまざまなことを学んでもらうことを目的としています。その内容は大人である私たちも学ぶことが多い、子どもたちと一緒に楽しみながら学んでいます。特に自然体験教室の講師である直井さんは動植物に造詣が深く、その活動の際には、大人が子どもたち以上に楽しんで

や団体・企業そして地域の様々な方の支援や協力により運営され、人とのつながりを大切にしながら活動をされているようです。

調理したお弁当は、会場の北子安自治会館に運ばれました。お弁当を楽しみに待つ、子ども、親子、地域の方で長蛇の列になっていました。会場の中では絵本の読み聞かせもあり、子どもたちや子育て中のお母さんでにぎわっていました。

コロナ禍で人との交流が難しくなりましたが、子ども食堂では子どもだけでなく地域の方々の貴重な交流の場となっているようでした。



君津まちなか子ども食堂 Twitter

「代表の私はほとんど何もしていないです。例えると、昔の活動は機関車のように、先に立つ人がどんどん進めていって他の人が付いてくるスタイルが多かったのですが、いまの時代は新幹線のように全車両に動力があつてみんなの力で進んでいくことが重要です。私は方向性を決めるだけで良いと思っています。」と話をしてくれました。言葉通り、スタッフの皆さんがそれぞれ考え動いていて、絶妙なコンビネーションで活動をされています。コロナ禍で柔軟に活動を続けていく秘訣かもしれません。

活動中「たつくんの名札を付ける長岡さん。活動とおして、日常生活で地域の子どもたちが「たつくん」と声をかけてくれるのが嬉しいと話されていました。

いるように見えます。

昨年度から今年度にかけては新型コロナウイルス感染症の影響により満足な活動ができていませんが、今後、新型コロナウイルス感染症が落ちつき以前のように活動できるようにになったときには、参加されるみなさんが楽しく学べる活動にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

八重原地区青少年相談員連絡協議会 会長 大内慎矢



自然体験教室で竹鉄砲づくり

はじめてのスマホ活用講座 活用編

オンライン活用法・zoom体験

スマホの便利な使い方や日常生活でもっと活用したい！という方向けの講座です。

最近はやりのzoom(オンライン通話・会議のアプリ)を使って、新しい時代の人とのつながり方を体験します。

●こんな方にオススメです！

- 遠く離れたお友達やご家族とテレビ電話で話してみたい方
- コロナ禍でもサークルや団体活動をオンラインで続けてみたい方

オンライン講座や

日時：1月28日(金) 9時30分～11時30分

会場：八重原公民館

講師：原園康寛氏

持ち物：スマートフォン、筆記用具、イヤホン

参加費：無料

定員：20名(先着順)

※市内在住・在勤・在学 申込：八重原公民館の窓口・電話にて

お伝えください

申込期間：12月23日(木)～1月14日(金)まで

※講座中のネット接続のデータ通信料はご本人様の負担となりますのでご了承ください。

地域再発見講座

「八重原歴史の道を歩く」参加者募集

昨年度、リニューアルした「八重原歴史の道まっぷ」の史跡のお話を聞きながら、約4kmのルートを巡ります。ウォーキングをしながら地域の歴史を学んでみませんか？

日時：1月22日(土) 9:30～11:30 ※雨天中止

会場：八重原公民館周辺

講師：君津市生涯学習文化課 文化財主事 曾我真実子氏

対象：市内在住・在勤・在学 20名(先着順。定員になり次第終了)

申込：八重原公民館の窓口・電話にて(住所・氏名・電話番号をお伝えください)

申込期限：1月11日(火)まで

マップHP

内みのわ運動公園の鐘ヶ淵

はじめに

公民館は、地域の皆さんが気軽に集まったり、学習するために設置された施設です。皆さんが自主的に使用して公民館の主催事業に参加し、様々な活動を通して地域のふれあいの機会をつくり、豊かな市民生活を目指していくことを目標としています。

公民館とは

「つどう」自主的な学習活動の支援

常に住民の立場に立って、その自主的な学習活動を支援していきます。気軽に人々が集うことができる場所です。

「学ぶ」身近な生涯学習の中核施設

地域における生涯学習の中核的な施設として、知識・教養・学習活動・豊かな関係づくりを支援していきます。

自ら興味関心に基づいて、社会の要請に応えるための知識・学術などを学ぶための場所です。

「つなぐ」世代を超えた地域づくりの拠点

歴史や活動の原点の立場に立ち戻りながら地域社会の活動を支えます。

地域の様々な機関や団体間のネットワークを形成します。

休館日

「国民の祝日に関する法律」に規定する休日

・年末年始

・12月28日～1月4日

・特別な事情による臨時休館

公民館は地域のみなさんの施設です。お気軽にお越しください。

利用の仕方

窓口か電話で希望日時と部屋を確認し、利用日の六カ月前から一週間前までに申請書を提出してください。

利用対象者

どなたでもご利用ができませんが未成年の方だけでは利用ができません。

団体活動は無料です。ただし、営利企業・政治団体等は有料または不許可になることもあります。